

# スプリングセミナー ☆ 報告

令和5年6月3日実施



## テーマ 「子どもをみる」とは どういうことか

### 講師 佐伯 胖 先生

(東京大学名誉教授 / 青山学院大学名誉教授  
/ 信濃教育会教育研究所所長)

信濃教育会

## スプリング セミナー

講師：佐伯 胖  
(東京大学名誉教授 / 青山学院大学名誉教授)



幼児教育学のスペシャリスト！  
笑顔が素敵な信濃教育会研究所所長です！

6月3日(土) 10:00~12:00  
対面(信濃教育会館) & オンライン  
(入室開始 9:45) 入場無料

R5セミナーテーマ  
**「子どもをみる」とは  
どういうことか**

**プログラム**

前半の部 10:00~

- 講師紹介
- 質問・エピソード紹介
- 講演「子どもをみる」とは  
どういうことか

事前にいただいたエピソードや質問の内容から改めて、  
われらが佐伯所長に講演いただきます。

後半の部 11:05~

輪になって語り合おう  
～フィッシュボール形式の対話～

フィッシュボールとは、対話を深めつつ、その内容を参加者全員で共有するための対話形式です。対面の方、オンラインの方、どなたも参加できます。聴いていただくだけでもよろしくOK！日頃の思いを語り合いませんか？

質疑応答 & アンケート 11:50~

**参加者の声**

R4セミナーテーマ  
学びが「おもしろくなる」とは

☆私は新卒で小学校の講師をさせていただいていますが、遊び心とまじめ心は相対関係にあると思っていましたが今回の佐伯先生の内容は自分にとってとても勉強になりました。ありがとうございました。(小学校・講師)

☆話を聞きながら、これまでに会った子ども達や今一緒に過ごしている子ども達の具体的な姿がたくさん浮かびながら聞くことができました。来週からの子ども達の関わりの中で生かしていきたいです。(小学校・教諭)

**参加者募集中**

私たちも参加します。話すことで、書くことで、元氣とアイデアをお届けします！

あなたと一緒に


## 講義内容

能力、評価、計画といった「教え主義」により、一人ひとりの子どもの「ありよう」が見えなくなってしまう。子どもの世界に巻き込まれ、子どもの経験を子どもになってやってみることで、はじめて子どもが見えてくる。

## 参加者の声

このような「子どもの見方」が広がれば、能力を数値によって評価することで苦しむ人が減っていくだろうと直感した。子どもと一緒にやってみる、感じてみるを大切に、驚き、共感したい。

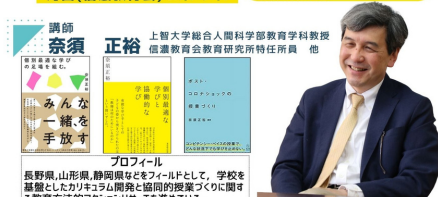
# ウインターセミナー☆報告

2023.12.16 SATURDAY

講師

奈須 正裕 先生(上智大学教授)

テーマ  
改めて考える！  
授業づくりの原点



## 【講座の内容】

教科書比較や授業カンファレンスなど、教師と子どもとが「あなたにしかできない授業をする」ための教材研究をご教授いただいた。また、参加者の悩みや質問に激励のお言葉をいただいた。



## 【参加者の声】

「学校を、子どもと教師がやりたいことで埋め尽くそう」という言葉が大変印象的でした。それが単なるお題目ではなく、実現の可能性が十分にあると実感できるセミナーでした。

これまでも奈須先生のご講演をお聴きしてまいりましたが、今回のお話はより熱を感じました。教師の営みは子どもと共にある。教師の生き方がそのまま授業にあらわれるということ強く感じました。

# オータムセミナー②報告 令和5年11月25日

講師  
高柳 充利 先生  
(信州大学准教授)



## 絵本の魅力とつながる心 ～絵本と子どもと大人と～



### 講座の内容

優れた絵本には子どもの内側で起こっていることが描かれている。絵本「かいじゅうたちのいるところ」の世界を紐解きながら、主人公マックスの心の豊かさを感じたり、参加者それぞれの思い出の絵本を語り合ったりした。

信濃教育会教育研究所  
オータムセミナー  
絵本の魅力とつながる心  
～絵本と子どもと大人と～

あなたの思い出の絵本はなんですか？

講師  
信州大学准教授 高柳充利先生

教育哲学が専門です。絵本には私たちがよりよく生きるためのヒントがあります。絵本を読むことで私生活にはどのような学びがあるのでしょうか。子育てされている方、司書の先生、幼保小関係の方から特別支援教育、中高の先生方絵本の魅力を是非一緒に味わいませんか？どなたのご参加でも可！

「絵本の中で、思い切り冒險す！「友だちと先生とお家の人と同じ耳を傾けて一緒に味わう体験」絵本を通しての体験にあなたな気づきのヒントがあるのではないで

思い出の絵本をきっかけに、子どもとのお話、絵本のこと、一緒に語り合いま

11月25日(土) 10時～12時

会場：信濃教育会館（ZOOMでの参加もOK）※無料です  
★思い出の一冊をお手元に、または心にご用意ください

9:45 入室開始

1 am10:00～ 講義

2 am10:30～ 絵本の思い出紹介

3 am11:10～ 3分かち合いタイム

高柳先生に絵本と子ども、大人を繋ぐお話をいただきます

参加者の皆さんと思い出の一冊とエピソードをお話しましょう

研究員の思い出の一冊とエピソード『だるまさんと』1歳の息子は「だるまさん」シリーズ。特に「だるまさん」を物を持っていきると「ペコッ」の音を立ててしまいます。絵本の中の言葉と動きを一緒に楽しむ子ども達の姿から学んでいる子どもと一緒に楽しむながら絵本は、とても貴重だと感じています。

グループでの話題を共に高柳先生と対話しましょう

12:00

### 参加者の声

大切な人と読んだ絵本の世界が私の心の中にもあると感じた。読み聞かせや読書は、読解力や国語の力を伸ばすこととセットで語られて期待されがちだが、もっと生きることそのものに関わるもののような気がした。

絵本は、思いのプレゼントという言葉に心があたたかくなった。

### 高柳先生のおすすめは…

『スイミー』（レオ・レオ二作）

## あと30センチの豊かさ

— 心に目を向け 共に感じる —

講師 岩川 直樹先生（埼玉大学教授）

《相手になる》ことで  
《相手と共に》が生まれる  
相手と私が  
なにかを分かち合う  
《並び見》の世界が。



## 講座の内容

岩川先生の書かれた「あと30cm」の詩を軸に「相手になる」ことで生まれる教育についてご講演いただいた。参加者の日頃の悩みにも一つ一つ温かくお応えいただいた。

## 参加者の声

日々の自分と生徒との関わり方を考えながらお話をお聞きしました。私は生徒を《対象》として見て関わっていることが多いように感じました。生徒に関心を向け、生徒との関係を築いていきたいと思いました。

”並び見”という言葉が大変印象に残りました。子どもを見ているつもりが、やはり上から見下ろすような形になってしまっていたことを反省しました。お話をお聞きして人間として関わる、触れ合うことの意味について問い直したいと思います。

**講師**  
岩川 直樹  
埼玉大学教授 / 信濃教育会教育研究所 特任所員

東京大学文学部卒。心理学科から教育学の大学院を経て現在、埼玉大学教育学部 教授。専門は、自他論、学習論、学校論。

オータムセミナー  
『あと30センチ』の豊かさ  
— 心に目を向け 共に感じる —

参加無料 10.7 土 10:00~12:00  
対面：信濃教育会生涯学習センター（安曇野市）  
対面参加の方は、岩川先生と直接対話できます！  
オンライン：入室 9:45から

主な内容  
岩川先生から学ぼう！  
岩川先生にきいてみよう！

こんな悩みありませんか？  
あの子が何を考えてるのかわからない...  
もっと子どもの時間を作りたい...

子どもに離れてる...？  
どうしても教師主導の授業になってしまう...  
何か楽しくない...  
どんな悩みでも岩川先生に相談できます！

子どもをもっと感じたい、子どもにもっと寄り添える私でありたい...  
そんな先生方、岩川先生のお話にきっと勇気づけられます！